



伊予神社神銘石
(源太石の標柱)



伊予神社拝殿。伊予神社の社格は延喜式内名神大社。
源義経が社殿を修繕し、河野家もまた造営したと伝わる。



神社の大楠木



伊予神社の参道および本殿。主祭神は彦狭島命(第七代孝靈天皇の第3子で、伊予の国を治め極めて功績が高い。)配神は愛比売命(伊予国の総神)、伊豫津彦命(伊予、久米両郡の開拓神)、伊豫津姫命(同妃)、山本根子彦太二命(孝靈天皇)他。



伊予神社拝殿の絵馬の一部。



明治29年(1896)4月に拝殿を改築。
彫刻は長州大工の門井友祐作。



伊予神社の境内社
(猿田彦神社、厳島神社、龜神社等)



伊予神社境内で発掘された経塚遺品(経筒6個、經典、和鏡、中国宋時代渡来品と推定される磁器壺2個、布目瓦、土器等)明治30年(1897)五輪塔の場所から出土、町指定有形文化財。



伊予神社の別当寺「真常寺」現在の晴光院の境内の一角であったと伝えられる。
「入らずの森」と呼ばれ畏敬され、この森の中に三基の五輪塔(町指定有形文化財)。

延喜式内名神大社 伊予神社



曹洞宗(禅宗)・一輪山・晴光院・真浄寺
総本山は永平寺(福井)・総持寺(横浜)が両本山。



晴光院説明板。晴光院は大同2年(807)
伊予神社の別当寺として建立された。



晴光院の本尊は修羅道を権化する
十一面観世音菩薩の秘佛。



晴光院山門。かつては広大な寺領を持ち七堂
伽藍が完備し塔頭12寺を擁する大寺であった。



晴光院山門に掲げられている山号



晴光院山門の扉には菊花16弁の紋章



晴光院本堂。屋根瓦には菊花16弁の紋章。
現在の本堂は平成2年に新築された。



晴光院本堂。格式の高い寺院で寺宝として、明和4年
(1767)微山和尚の補任状「薄墨の繪旨」がある。



晴光院本堂。豪華な彫刻。



晴光院本堂。「晴光院記」や高祖道元師著
「正法眼蔵」の板本も所蔵されている。



晴光院本堂。かつては数回勅使が
下向したと伝えられている。



晴光院本堂の襖絵。



旧晴光院跡から発掘された六地藏
鎌倉時代の作。

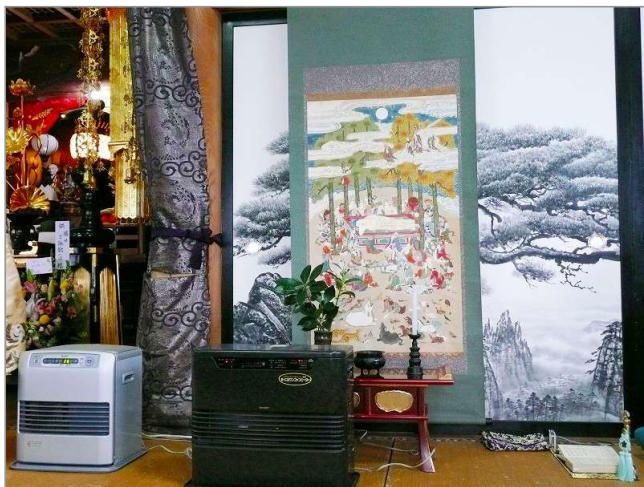


晴光院の手水鉢。

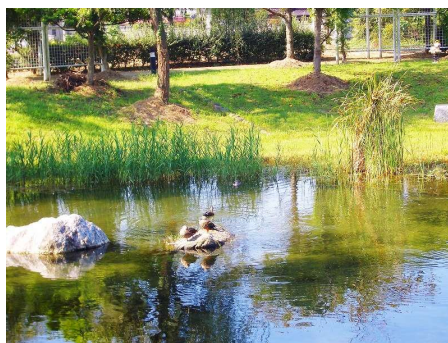


真民の句碑(晴光院境内)。

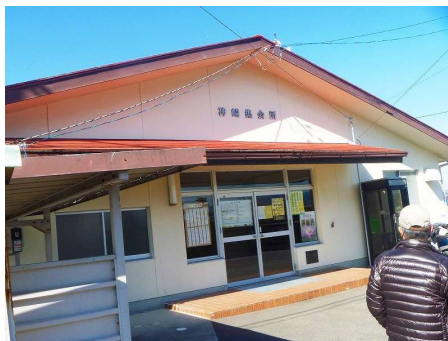
晴光院



晴光院 涅槃会法要・二本尊様ニ開帳 (平成23年2月15日)



郷土の自然遺産「福徳泉」



神崎地区めぐり



建替えられた禪正軒



禪正軒の扁額(元文5年(1741)3月寄進)



本尊の阿弥陀如来像



庵に伝わる経典



落慶供養(7月31日)



奉読誦妙法蓮華教供養塔



優美で格調のある宝篋塔



大念仏発祥之地の碑



史跡禪正軒の碑



大念仏(本堂で供養)



大念仏(墓地全体を周る)

大念仏
毎年8月12日に神崎・鶴吉・出作の人々が集まり
討ち死にした平若左近主従の霊を供養する行事



大念仏(全員で念仏を唱える)

神崎禪正軒の落慶供養と大念仏

(平成19年7月31日)

(毎年8月12日)